

平成22年度防衛省における行政事業レビュー実施のための行動計画

平成22年4月8日
防衛省

I 行政事業レビュー実施のための体制

防衛省予算監視・効率化チームが主体となり、防衛省として行政事業レビューに誠実に取り組む。

【防衛省予算監視・効率化チーム】

- チームリーダー：榛葉副大臣
- 外部有識者：別途選任
- チーム事務局長：経理装備局長
- チーム事務局次長：経理装備局会計課長、大臣官房企画評価課長
- チームメンバー：経理装備局監査課長、地方協力局地方協力企画課長、施設等機関の会計担当課長、各幕・各機関の会計担当課長 等

外部有識者

従来から行われている調達、入札及び政策評価に関する審議会等と連携し、各種取組を一体的にチェックする体制をとり、予算執行の適正性や透明性の確保、効率性の向上を図るためのアドバイザー的な役割を担う外部有識者の参加を得ることとし、「防衛調達審議会」、「公正入札調査会議」あるいは「防衛省政策評価に関する有識者会議」の委員等から選定する予定。

II 実態把握の基本的考え方

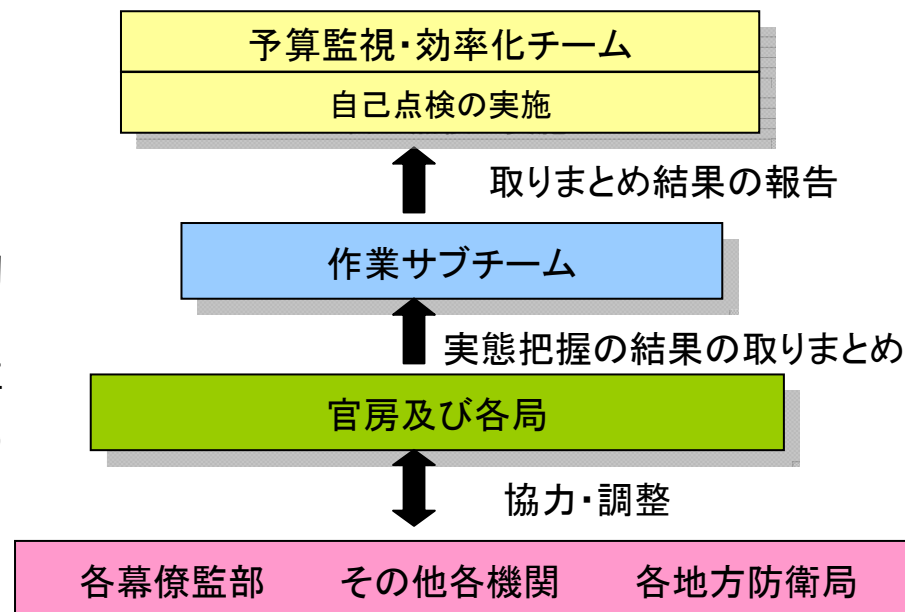
行政事業レビューの目的に鑑み、施策と予算経費項目とが連携する次の5つの施策の分野その他対象とするべき事業を全て網羅する。

- (1) 防衛装備品等の維持及び整備
- (2) 自衛隊の人的資源の効果的な活用
- (3) 防衛装備品の研究開発の推進
- (4) 防衛施設の安定的な運用の確保
- (5) 在日米軍の円滑な駐留のための施策の推進

【防衛省の特色を踏まえたレビュー】

各機関等及び地方支分部局の協力を得て、支出先における実態を把握。

その際、防衛装備品の製造請負契約など防衛省特有の契約の在り方などに留意し、現場の確認については、必要に応じ装備品等の製造及び建設工事の分野における事業場及び工事現場等に配置する監督官、検査官を活用。



Ⅲ 行政事業レビューの大まかなスケジュール

